

私たちは、  
鯨川村こども議員です。



【特集】 鯨川村こども模擬議会

# 初めての議会

村議会改革特別委員会が行った「住民アンケート調査」で、子どもたちの声を聞くためにこども議会を開催してはどうか」という意見が寄せられて開催となった「鯨川村こども模擬議会」。子どもたちも立派な村づくりの一員です。将来の鯨川村を担う子どもたちからの貴重な質問や意見と一緒に耳を傾けてみましょう。

## 議会さながらの雰囲気の中子どもたちが堂々と質問

普段の議会とは異なり、子どもたちの声が響くにぎやかな議場。しかし、開会五分前のブザーが鳴ると、しんと静まり返りました。

第一回鯨川村こども模擬議会（以下、「こども議会」）は二月十八日、役場議場で行われました。子どもたちの声を今後の政策提言に生かすほか、議会制や行政について学び、さらには将来の鯨川村を担う人材育成の機会とすることを目的として開催。村内二つの小学校の児童三十三人（鯨川小六年生三十一人、青生野小六年生二人、同五年生一人）が参加しました。

こども議会には、大樂勝弘村長をはじめ奥貫洋村教育長、村教育委員、各課長らが出席。さらに、傍聴席には村議会議員、学校関係

者、保護者、報道機関などが並び、普段の議会さながらの雰囲気の中、子どもたちは少し緊張している様子でした。

我妻美空さんの進行で、前田三郎村議会議長が「皆さんの目を通して見えてくることを質問や提案として村長さんに伝えてください。そして、答えを得て議論を重ねてください。また、今回のこども議会の経験を心に留め、鯨川村に対する関心を深めて村政に力を貸してください」とあいさつ。続いて、議長役の佐藤広基さんが議会開会宣言を行い、こども議会が始まりました。

大樂村長が「皆さんの声を聞きながら明るい村づくりにつなげていきたい」とあいさつを述べた後、佐藤広基議長と古館美沙副議長の進行で一般質問が行われました。子どもたちは八つのグループに分かれ、生活の中で疑問に思っていることや感じていることをまとめ、行政に対する質問や提案として堂々と発表し、村長と村教育長に答弁を求めました。答弁した内容聞きもらすまいとメモを取る子どもたちの姿が見られ、意欲的に取り組んでいました。

## VOICE



青生野小学校5年 棚井未有さん

村長さんたちが分かりやすく話してくださったので、とても聞きやすかったです。いろいろな疑問を相談できていいなと思いました。来年が楽しみです。



青生野小学校6年 藤田琉那さん

こども議会では、私たちの質問に村長さんや教育長さんがとても詳しく答えてくれました。村の施設について知ることができたので良かったです。



鯨川小学校6年 佐藤広基さん

議長をやれてよかったです。とても貴重な経験ができました。これからは、この経験を生かしていきたいと思います。



鯨川小学校6年 志村さくらさん

私たち村民のために村議会があることや私たち村民が快適に暮らしていけるように考えていただいていたことに、とても感謝しています。



鯨川小学校6年 市川正己さん

すごく緊張したけど、村のことがたくさん分かったり、自分たち子どもの意見を聞いてくれたりするので、いい経験になりました。





藤田 琉那  
こども議員(青生野小)

### 「高齢者が楽しく安全に暮らせる居場所づくり」とは

[質問] 私たちは、おばあちゃんやおじいちゃんたちに笑顔でいてほしいと願っていますが、第3次鮫川村振興計画の「集落の高齢者が昼間楽しく安全に暮らせる居場所づくり」とは、具体的にどのようなものなのか教えてください。

[答弁・村長] 高齢者が引きこもりがちになり、孤立してしまうのを防ぐためには地域との「つながり」が必要です。高齢者をはじめ地域の誰もが気軽に立ち寄って、お茶を飲んだり食事をしながらおしゃべりできる「居場所づくり」を進めています。「居場所」のことを「サロン」と表現しています。平成24年度の地域ふれあいサロン事業は、西山・赤坂中野・富田地域の7カ所で延べ61日開催され、延べ500人が参加しました。まだサロンがない地域に対しては、サロンの運営をお願いするボランティアを育成し、居場所づくりを進めていきます。



舟木 悠悟  
こども議員(鮫川小)

### 子どもや高齢者が集う憩いの場所の建設を

[質問] トレーニングセンターは運動するための施設なので、中学生の部活動やスポーツ少年団の練習が入っていると、思うように利用できません。公園も少なく、子どもや高齢者が集う場所がありません。村民の憩いの場所の建設を強く願います。

[答弁・教育長] ご質問の「村民の憩いの場所」とは、具体的にどのようなものをお考えなのでしょうか。建物を建てるためにはたくさんのお金がかかります。村内には、十分に利用されていないグラウンドや公園、集会施設などがありますので、まずはそれらの有効活用が望まれています。また、近年は子どもたちの運動不足が心配されているので、皆さんにも近くのそうした施設を大いに利用してほしいと思います。さらに、村民の健康を願い、「健康ロード」を計画しています。楽しく遊び、運動不足解消などに役立ててほしいと思います。

### 歩道や街路灯の整備で歩行者の安全対策を

[質問] 歩道が整備されていなかったり、信号機がない十字路があったりと怖い思いをすることが多くあります。また、街路灯がない道では、車のドライバーから歩行者が見えにくく、ドキッとすることがあると聞きました。どのような歩行者の安全対策をとっているのか、また検討しているのか教えてください。

[答弁・村長] 子どもたちを事故から守るために幼稚園児に黄色のベレー帽、小学校1年生に黄色の帽子とランドセルカバーなどを配布しています。また、ドライバーに対しては、年4回「交通安全運動期間」を設けて安全運転などを呼びかけています。さらに、皆さんが危険箇所や街路灯が故障していたり、暗くて危険な場所を見つけたときは、役場に教えてください。警察署や国、県などにお話をしたり、急いで対応したいと思えます。



齋藤 萌  
こども議員(鮫川小)

### 安心安全な登下校のために部活バスの運行見直しを

[質問] 4月から中学生になる私たちにとって、これからもスクールバスは必要不可欠なものです。しかし、中学生の部活バスは下校時のように家の近くまで送ってもらえない場合があります。今後の部活バスの運行についての考えを聞かせてください。

[答弁・教育長] 部活バスの運行については、平成23年度まではバス2台で2路線、平成24年度からは3台で運行しています。平成26年度は3台で3路線の運行を予定しています。これは、皆さんのお父さん、お母さんの代表と区長さんや学校代表者の意見を聞いた上で、生徒の住む家や道路の事情、かかる時間などを考えて決めました。なお、路線によっては到着時刻やバスを降りてから歩く距離が異なる場合がありますので、家族や地域の皆さんの協力もお願いし、安全には十分に気を付けていきたいと考えています。



藤田 弥生  
こども議員(鮫川小)

## 【鮫川村こども模擬議会会議録】

グループの代表、8人のこども議員が大楽村長、奥貫村教育長に質問を投げかけました。質問・答弁内容を紹介します。



村長の答弁を聞くこども議員



関根 愛美  
こども議員(鮫川小)

### ご当地キャラクターを活用したPRを

[質問] 最近、各都道府県などでご当地ゆるキャラを採用し、PRに役立てています。鮫川村にとっても、村をPRすることで人口減少を食い止めるほか、観光客や移住者の増加が期待できると考えます。村おこし事業の一環として検討をお願いします。

[答弁・村長] これまで村のキャラクターとして、国蝶オオムラサキをイメージした「ムックン」、非公式ではありますが村の特産品の大豆をイメージした「豆達ちゃん」が活躍してきました。また、豊かな土づくりセンター「ゆうきの郷土」が完成し、安全で環境に優しい有機たい肥「ゆうきくん」の生産が始まりました。そのイメージキャラクターとして「ゆうきくん」が誕生しました。現在、3月完成を目標に着ぐるみを制作中です。「ゆうきくん」には「ゆるキャラ」として鮫川村の良さを村内外にアピールし、活躍してもらう予定です。



矢吹 怜豊  
こども議員(鮫川小)

### 「まめで達者な鮫川村民」を目指した今後の取り組みは

[質問] 鮫川村は「まめで達者」で健康な村民を願って、大豆栽培に力を注いでいます。現在、学校給食に大豆を取り入れた「手・まめ・館」で大豆加工品を販売していますが、今後どのような新しい取り組みやイベントなどを考えていますか。

[答弁・村長] これからも大豆の生産から加工、販売までと農業の6次化を進めていきます。農業の所得向上と商品開発を行い、村の活性化に取り組んでいきたいと考えています。現在、「まめで達者な村づくり」を浸透させるため、大豆栽培者研修会やアイデア料理コンテスト、鮫川の郷土料理を楽しむ会などを開催しています。また、都市交流や友好団体との連携などで全国に向けて特産品の販売や情報発信を続けていきます。新しい特産品やイベントについて、皆さんからの楽しいアイデアを聞かせてください。

### もっと利用したい村民のためにさぎり荘の料金を安く

[質問] 「さぎり荘」の利用料金は300円から500円です。しかし、いつも利用したいと思う村民にとっては少し高いのではないかと思います。もう少し低料金であれば、利用する村民が増えると考えられます。今後の運営面での検討をお願いします。

[答弁・村長] 近隣町村の同様施設は、1日の利用で大人は800円から1500円ぐらい、小学生は200円から600円ぐらいです。村は小学生の利用料金を300円として1回の入浴でも休憩でも同じ料金にしました。平成26年4月からは消費税が8%になりますが、さぎり荘の利用料金は値上げせず、現在のままで運営したいと考えています。10回利用すると1回無料になるサービスもありますので、ご理解いただき、これからも友達や家族で利用してください。また、今後も皆さんの意見を聞きながら、その都度検討していきます。



須藤 楓  
こども議員(鮫川小)

### 読書や学習スペースの確保で利用しやすい図書館に

[質問] 図書館をリニューアルしたことで、本を読むスペースが減ったり、調べ学習をする場所がなくなったりと、利用しにくくなってしまったように感じます。ぜひ、これらのスペース確保を考えてください。また、以前のように飲み物などを飲むスペースもあるとさらに利用者が増えると思います。

[答弁・教育長] 読書や学習のためのスペースについては、これまでの利用状況や広く村民の願いによって決めました。今後、利用者が増えればスペースを広くすることができます。また、館内での飲食については、他市町村の図書館でも禁止している所がほとんどです。理由は読書や学習という目的から外れることと本を汚したり、他の利用者に迷惑をかける恐れがあるからです。図書館隣にオープンした「すまいる」では、談笑や飲食ができるスペースがあります。ぜひ利用してください。



石原 楽斗  
こども議員(鮫川小)